

令和5年度 ICT活用実践研究 実績報告書

所属校園	附属函館小学校		形態	■ 個人 □ 団体・グループ	
研究代表者 (申請者)	氏名		職名	備考(分担等)	
	菅原 拓		教諭	計画立案・研究推進	
研究分担者 (団体・グループの場合)					
研究題目	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための端末活用				
経費支出内訳 (事務の確認を経て提出のこと)					
事項	単価 [円]	員数	金額 [円] (消費税込)	備考 (内訳・特記事項等)	
タブレットホルダー	6,500	1	6,500		
ペンタブ	16,800	1	16,800		
HDMI キャプチャー	3,330	2	6,660		
		合計	29,960		

【研究実績の概要、得られた成果・効果等】 ←以下に自由記載(報告書全体で4ページ程度に)

1 研究の背景

一人一台端末の普及に伴い、令和の日本型学校教育のより一層の充実が求められている。しかし、どのように授業場面で活用すればよいか、見通しの立たない先生方も多い。(道南情報教育研究会令和4年度冬季実技講習会アンケート)そのため、本校教職員のみならず、道南の学校関係者のニーズに応えられる一人一台端末の活用方法共有のための取組を始めた。

2 研究の目的

本研究では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現するための、一人一台端末の活用方法を明らかにすることを目的とした。本校「デジタル推進部」、「研究部」や「道南情報教育研究会ネットワーク」と連携しながら下記のように研究を進める。

3 研究の方法

(1) 指導案の共同検討

(2) 授業の公開

- ① 国語科における Canva を活用した個別最適な学びの実現
- ② 算数科における Kahoot! を活用した個別最適な学びの実現
- ③ 社会科における Canva を活用した協働的な学びの実現
- ④ 社会科における NHK for School を活用した協働的な学びの実現
- ⑤ 総合的な学習の時間における協働的な学びの実現
- ⑥ 特別活動における NHK for School を活用した協働的な学びの実現

(3) スキームの共有

- ① 道南情報教育研究会ネットワーク夏期実技講習会における実践公開
- ② 全国放送教育研究全国大会における実践公開
- ③ 函館市小学校社会科教育研究会における実践公開

(4) 評価・分析

4 代表的な取組

A) (2) 授業の公開① (国語科における Canva を活用した個別最適な学びの実現)

Canva を活用した個別最適な学びの実現を目指し、ショートショートをプログラミング的思考を働かせて行う実践を公開した。選択肢に応じてストーリーが分岐する学習を計画し、子供たちがどのように分岐し、どのような結末を迎えさせるか選べるようにした。子供たちの取組の例 (図1・図2) のように様々な方法でショートショートを作成する学習を展開することができた。

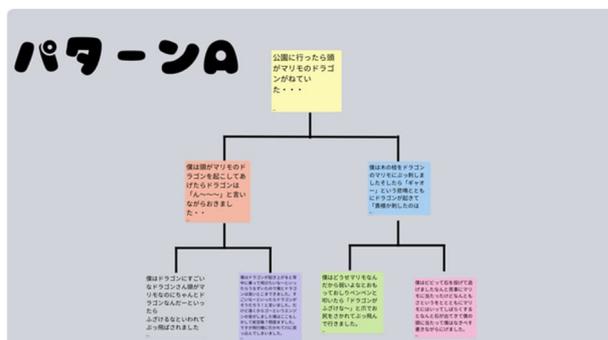


図1 子供の取組例 (パターンA)

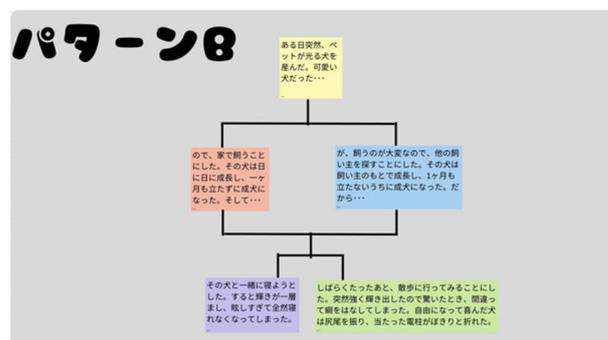


図2 子供の取組例 (パターンB)

B) (2) 授業の公開② (算数科における Kahoot! を活用した個別最適な学びの実現)

渡島教育局主催の初任者研修において算数の授業公開を行った。既習の内容の振り返りとして、プリントと Kahoot! (図3) のどちらかを選ぶことができるようにし、個別最適な学びの実現に向けての取り組みを公開した。

また、Kahoot! の問題も2種類用意し、自分が挑戦したい難易度を子供たち自身で選べるようにした。今回はクラシックモードを活用した授業を公開したが、七飯町立藤城小学校の授業公開では、サブマリンモードを活用した実践を公開している。

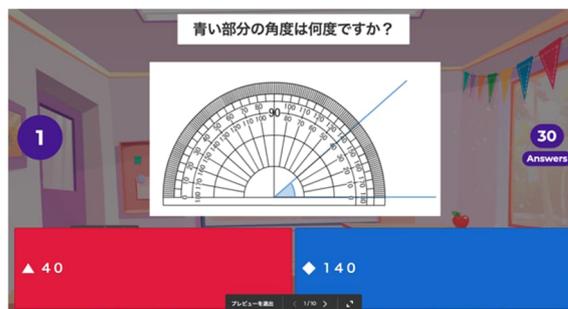


図3 Kahoot! の問題提示

C) (2) 授業の公開③ (社会科における Canva を活用した協働的な学びの実現)

第27回視聴覚教育総合全国大会・第74回放送教育研究会全国大会合同大会へ向けての授業公開を行い、北海道教育大学附属函館小学校（以下本校）の教職員に授業公開を行った。来年度以降、Google が提供してが使えなくなることから、ホワイトボード型アプリの需要が高まることも見越して、協働的な学びの実現を目指し、Canva のホワイトボード（図4）を活用した授業を行った。情報活用能力の育成の視点から、様々な考えを整理・分析するためのチャートを活用した。授業の中では、子供たちが視点に基づいて協働的に学習に取り組む姿が見られた。

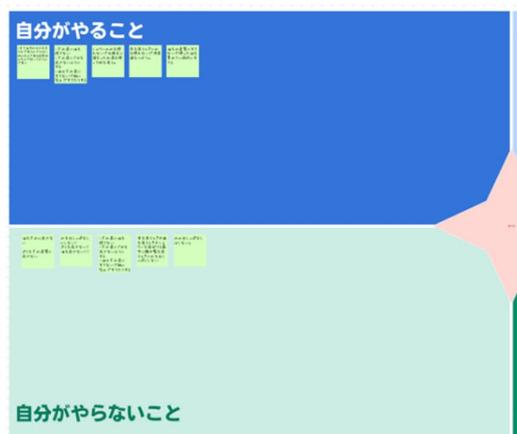


図4 Canva のホワイトボード活用①

全員の考えを共有する場面では、一覽で全員の考えを共有できるように情報共有シート（図5）を作成し、学習を展開した。全員の考えを一覽で見ながら自分の考えを書くことで、意見の表出が難しい児童でも、友達の考えを参考にして考えたり、友達の意見と関連させたりして考える姿が見られた。実践の公開以降、Google Jamboard が使えなくなった後の活用ツールとして Canva のホワイトボードを活用していこうという雰囲気が校内だけでなく、函館市内や渡島管内の学校でも見られた。



図5 Canva のホワイトボード活用②

(2) 授業の公開④ (社会科における NHK for School を活用した協働的な学びの実現)

第27回視聴覚教育総合全国大会・第74回放送教育研究会全国大会合同大会へ向けての授業公開を行い本校の教職員に授業公開を行った。NHK for School の活用について、理科で時間がないときに使っている程度しか活用していないという本校の教員の声を受け、放送番組を効果的に活用した、協働的な学びを実現するための方法を明らかにするための方法として、①放送番組を活用した視点の獲得②社会科番組の活用の不便さの解消を目指して授業を構成した。①放送番組を活用した視点の獲得では、協働的な学びを実現するための探究の視点を番組視聴によって行う方法（図6）を公開した。②社会科番組の活用の不便さの解消では、視点を基に協働的に学習に取り組むことで、どの地域も同じ視点や人々の思いで探究していくことに子供たち自身で気付くことができた。

また、今回の実践を第27回視聴覚教育総合全国大会・第74回放送教育研究会全国大会合同大会の実践発表や北海道地方放送教育研究協議会冬季特別研修会で発表し、校内外へ発信することができた。その際に、道南情報教育研究会ネットワークとも連携し、授業の動画撮影や実践発表スライドの作成協力など連携を図りながら実践を行うことができた。



図6 番組視聴による探究の視点獲得

(3) スキームの共有

授業公開や実践発表を表1の通り実施し、充実した取組を進めることができた。

表1 今年度の授業公開・実践発表

種別	期日	内容	団体
実践発表	5/13(土)	令和5年度放送教育研究大会全国大会実践提案事前研修会①	全放連
授業公開	6/21(水)	七飯町立藤城小学校授業動画提供	
授業公開	6/27(火)	令和5年度初任者研修授業公開	渡島教育局
実践発表	6/25(日)	教育放送企画検討会議	NHK
授業公開	7/12(水)	七飯町立藤城小学校授業公開	
実践発表	7/21(金)	令和5年度放送教育研究大会全国大会実践提案事前研修会②	全放連
実践発表	8/4(金)	道南情報教育研究会ネットワーク夏期実技講習会	道南情報教育研究会 ネットワーク
実践発表	8/24(木)	函館市立北美原小学校 ICT 活用に関する出前講座	
授業公開	9/22(金)	令和5年度放送教育研究大会全国大会授業公開	全放連
実践発表	11/11(土)	令和5年度放送教育研究大会全国大会	全放連
実践発表	1/10(水)	令和5年度北海道地方放送教育研究協議会冬季特別研修会	道放協
授業公開	2/26(月)	松前町立大島小学校授業公開	

5 研究の成果と課題・今後の展望

本研究助成により、各取組を支える変換アダプタや Canva への直接書き込みに活用するためのペンタブレットなどを購入することができ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を作るための環境の整備を行うことができた。

今年度の取組を通して、本校での ICT 活用の機運が高まり、ICT を活用した授業づくりについて教職員間で連携するとともに、各種団体での実践発表や授業公開などを通して、本校の取組を外部へ向けて発信することができた。

今後の課題として、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の実現のために、校内での授業公開を行うだけでなく、そのスキームを本校教員全体に広めるための事後研や実践研修会のようなものを設定する必要がある。全教職員のスキルアップを目指して様々な施策を打てることを目指して次年度の計画を立案していきたい。

今後も各団体と連携し、本校の実践公開を継続していきたい。